

大 学 史 研 究 通 信

第 108 号 2023 年 9 月 29 日 (金)

大学史研究会

第 108 号の内容：会員情報、新入会員 自己紹介、会員情報の収集について、2023 年度第 46 回大学史研究セミナーについて、『大学史研究』編集委員会からのお知らせ、紀要『大学史研究』掲載の論文等の J-STAGE への掲載について、運営委員会からのお知らせ、推薦委員会の公示、次期運営委員立候補の募集、総会の開催について、2023 年度会費納入について、会員新刊ニュース、お知らせ、編集後記、大学史研究会運営委員・事務局員一覧

会員情報

新入会員

高本 尽 会員

所属：東京大学

橋川 君啓 会員

所属：鳴門教育大学大学院学校づくりマネジメント専攻

(会員情報担当：船勢肇)

新入会員 自己紹介

高本 尽 会員

この度、入会いたしました高本尽と申します。東京大学で事務職員をしながらこの 3 月に東京大学大学院教育学研究科の修士課程を修了いたしました。東京大学教養学部前期課程で全ての 1、2 年生を対象に行われる教養教育カリキュラムに関心があり、史資料を用いた歴史分析とシラバスデータを用いたカリキュラム、テキスト分析を通じてそのカリキュラムや教育制度・理念の変遷にアプローチしたいと考えております。修士論文では設置基準の大綱化前後のカリキュラム改革の議論を取扱いました。今後は新制大学発足以降から現在までを通時的に分析していきたいと考えております。若輩者ですが、ご指導ご鞭撻のほどどうぞよろしくお願いいたします。

橋川 君啓 会員

鳴門教育大学大学院学校づくりマネジメント専攻 橋川君啓です。

高等学校福祉科教育の歴史、社会福祉職の専門性、福祉の学問的専門性等を主な領域としています。広島大学大学院教育学研究科高等教育開発専攻博士前期課程で、修士を取得したのが、16 年前です。

大学をめぐる環境も当時とは大きく変わりました。大学史研究会には、直接講義を受けた先生や、ご縁のある方も多いです。ぜひ、皆様のご指導を賜りますようよろしくお願い申し上げます。研究会等でぜひお話をいただければ幸いです。

(会員情報担当：船勢肇)

会員情報の収集について

大学史研究会では、総会で議論し、通信でお伝えいたしましたように、会員情報の確認・更新作業を行っております。同時に、日本学術会議協力学術研究団体への登録に向けて準備

を進めております。これに伴い、すでに多くの会員情報の提供をいただいておりますが、まだご提供いただけていない会員の方にご入力をお願い申し上げます。

大学史研究会では、お預かりした個人情報について、個人情報保護法の趣旨に則って、適正かつ安全に管理・運用することに努めます。

この会員情報の収集については、原則として下記の専用フォームでご記入いただきます。

(WEB掲載にあたり、専用フォームを削除しています)

なお、紙媒体でのご回答をご希望の方は、会員情報担当の船勢(funasehajime@gmail.com)までご住所をお知らせ下さい。記入用紙を送らせていただきますので、ご記入の上、ご返送をお願いいたします。大変恐縮ですが、ご返送の際の郵便料金は各自でご負担ください。

大学史研究会では今後の研究会の継続的な発展のために経費節減、事務局の負担軽減のため、今後『大学史研究通信』の電子化を検討しております。今回お教えいただいた会員情報は電子化への対応など、会員サービスの向上にも役立てて参ります。お手数をお掛けいたしますが、どうぞよろしくお願い申し上げます。

(会員情報担当：船勢肇)

2023 年度第 46 回大学史研究セミナーについて

今年度の大学史研究セミナーは、中央大学（茗荷谷キャンパスまたは駿河台キャンパス）にて実施いたします。

初日シンポジウムの詳細については決まり次第、また、最終的に確定したセミナープログラムは 11 月中旬頃に、当研究会 HP にて公開します。

久しぶりの対面開催です。多くの方のご参加をお待ちしています。

第 46 回大学史研究セミナー 開催概要

- ・日時：2023 年 12 月 2 日（土）13：00～18：00 シンポジウム・総会
12 月 3 日（日） 9：00～13：00 自由研究発表（時間の変更可能性有）
- ・会場：中央大学 茗荷谷キャンパスまたは駿河台キャンパス
- ・申込方法：当研究会 HP にて受付（後日、参加申込用 URL を公開）
- ・申込期間：11 月 13 日（月）～11 月 26 日（日）

自由研究発表募集

- ・発表時間：お一人あたり 45 分（発表 30 分＋質疑 15 分）
- ・発表資格：年度会費を納入済の会員
- ・申込方法：当研究会 HP にて受付（後日、発表申込用 URL を公開）
- ・申込期間：10 月 16 日（月）～11 月 5 日（日）

(セミナー担当：山本珠美、事務局長：山本尚史)

『大学史研究』編集委員会からのお知らせ

『大学史研究』編集委員会では、会員の皆様から投稿いただいた玉稿をもとに、現在、第32号に向けた編集作業を進めています。発行は12月の予定です。しばし、お待ち下さい。

3月末の投稿申請締め切り時には14本ものエントリーがありました。しかし、6月末の締め切りで編集委員会に届いた投稿は、結局半分にとどまりました。次なるチャレンジを是非ともお待ちしております。なお査読作業にも支障をきたしますので、提出をご辞退・断念の場合は、編集委員会にせめてご一報いただきますようお願い申し上げます。さて、今回の投稿はすべて「日本の大学・高等教育史」研究論文であり、第32号の掲載にもそれが反映されます。次号以降はまた、本会の特色でもあるように、日本のみならず、欧州、北米・中南米、アジア、中東、あるいはアフリカと、全世界に関わる多様な研究成果が届くことを期待します。そのためのご準備、皆様よろしくお願いいたします。

次の第33号原稿募集について、正式日程は後日改めてお知らせしますが、例年、3月末がエントリーの期限、6月末が原稿提出の期限となっています。論文、研究ノート、書評、史料・文献紹介の原稿をお待ちしています。奮って投稿して下さい。なお、年会費未納の場合は、紀要「大学史研究」に投稿することはできませんのでご注意ください。

(紀要編集委員長：大川一毅)

紀要『大学史研究』掲載の論文等のJ-STAGEへの掲載について

総会においても承認されております紀要『大学史研究』に掲載された論文等の諸論考につきまして、J-STAGEへの掲載準備を開始しております。J-STAGEへの掲載にあたっては、著作権の関係上、著者の許可を得て進めさせていただく必要があります。

そこで、会員のみなさまにお願いです。過去に紀要『大学史研究』に掲載されたご自身の論考でJ-STAGEでの公開を望まない場合のみ、事務局宛に、著者名、題目、掲載号をお知らせください。現在会員の方でお申し出が無い場合は、許可を得たものとし、掲載を進めさせていただきます。

掲載不可の申し出期間：2023年11月30日

(事務局長：山本尚史)

運営委員会からのお知らせ

「危険な暑さ」は、ようやく、日本列島を去りつつありますが、会員の皆様には、恙なくご活躍のことと存じます。

夏休みの終了の時期は、運営委員会にとっては、いよいよ、年末の大学史セミナー及び研究会総会への準備の本格化を意味します。

その一環として、9月15日に、臨時運営委員会をメール審議にておこないました。大学史研究会の次期運営委員候補者を推薦する、推薦委員会の構成員の決定のためです。

その結果、本『通信』の山本事務局長からの報告にありますように、7名の会員が推薦されました。

運営委員会では、大学史研究会をさらに充実させるべく、『大学史研究』のJ-STAGEへの登録、日本学術会議協力学術研究団体への大学史研究会の登録申請、あるいは、会員獲得のキャンペーンと、いくつかの新たな事業を並行しておこなってきました。本来でしたら、ひとつの『通信』が出るたびに、事業の完了をご報告できればよろしいのですが、今の事務局と運営委員会の体制ですと、なかなかそうはいきません。

上記の、『大学史研究』のJ-STAGEへの登録については、最後の一步というべく、著作権処理の問題への対応までこぎつけました。これも、本『通信』の「紀要『大学史研究』掲載の論文等のJ-STAGEへの掲載について」にもありますが、会員の皆様には、過去の『大学史研

究』に掲載されたご自身の諸論稿で、J-STAGE での公開を望まない場合のみ、事務局宛にご一報いただければ幸いです。

会員獲得のキャンペーンについては、特に、機関会員の増加のために、日本中の大学文書館（アーカイブズ）へ働きかけることをご提案したのですが、これは未着手という情けない状態です。申し訳ございません。

「大学教員の過剰な多忙化」はここ数年、つとに言われてきたことですが、その中において、大学史研究会の果たすべく役割はむしろ大きくなったと、私は考えております。会員の皆様のいっそうのご協力、ご支援を宜しくお願いいたします。

（運営委員長：坂本辰朗）

推薦委員会の公示

会員のみなさまには、今年度の第 46 回大学史研究セミナーにおいて、現在の運営委員 5 名の改選について審議をしていただきます。その審議に先立ちまして、通信 107 号においてみなさまにご報告しましたように、次期運営委員候補者を選定する推薦委員会を立ち上げることになりました。自薦他薦をもって候補者の選定を行い、以下の運営委員・会員で委員会を構成することとなりましたのでご報告申し上げます。

運営委員より（五十音順）

- ・大川一毅会員（岩手大学）
- ・坂本辰朗会員（創価大学）
- ・山崎慎一会員（桜美林大学）

会員より（五十音順）

- ・沖塩有希子会員（千葉商科大学）
- ・香川せつ子会員（津田塾大学）
- ・戸村理会員（東北大学）
- ・間篠剛留会員（日本大学）

（事務局長：山本尚史）

次期運営委員立候補の募集

先ほどご報告しましたように次期運営委員を選出するための推薦委員 7 名を選出しました。今後、総会開催までに推薦委員会を開催し、推薦候補の選定を進めて参ります。それとは別に 2021 年度総会で承認されました「大学史研究会運営委員会の構成、選出方法に関する内規」に基づき、自薦他薦によっても候補者を募集いたします。

1. 立候補受付開始（この通信の発行日）
2. 立候補受付終了：2023 年 10 月 12 日（木）
3. 立候補及び推薦名簿を会員に発送（11 月中旬：セミナー号外に同封）
4. 総会にて投票

立候補される方は、10 月 12 日（木）までに事務局メールアドレスにご連絡ください。立候補届の様式は定めませんので、メール本文にて立候補の意思をお示しください。

（事務局長：山本尚史）

総会の開催について

今年度の総会においては、次期運営委員の選出を中心に審議をさせていただきます。そし

て先日来お願いをしておりました会員情報の収集の状況につきましてはご報告をさせていただきます。過去に刊行された紀要の J-STAGE への掲載も含めまして、今後の研究会の動きについてみなさまと情報共有をさせていただく場にいたします。

詳細につきましては、11 月中旬刊行のセミナー号外においてお知らせいたします。

(事務局長：山本尚史)

2023 年度会費納入について

今年度の年会費納入についてお願いのご連絡を申し上げます。大学史研究会の実収入は、会員各位からの年会費に大きくよっております。会員の皆様の円滑な研究会運営へのご協力に感謝を申し上げます。引き続き、大学史研究会の発展と円滑な運営のため、会員各位のご理解ご協力をお願い申し上げる次第です。年会費の納入の詳細につきましては、同封の納入依頼通知をご覧ください。

年会費は 5,000 円です。なお、大学院等在学あるいは日本学術振興会特別研究員の各位には、「院生・学生会費」として 3,000 円が適用されております。また、過年度分年会費未納の会員には、未納年度と本年度会費分を含めた金額総計を通知しております。年会費を 3 ヶ年度分以上滞納されている会員には、研究会の継続参加のご意志を年会費納入によって確認できるまでは、大学史研究会からの諸連絡、「研究通信」、「大学史研究」(紀要)等の発送の停止が決定しております。該当する会員へのご連絡通知には、これに関する事項が記載されておりますのでご留意願います。なお、本通知依頼発送と入れ違いに年会費を納入いただきました場合には、何卒ご容赦のほどお願い申し上げます。

—— 年会費納入払込先 ——

郵便振替口座：大学史研究会 口座番号 00120-3-47583

または

銀行口座：大学史研究会 三井住友銀行 池袋東口支店 (店番 671)
普通預金 (口座番号 3456109)

(会計担当：山崎慎一)

会員新刊ニュース

会員の皆様の新刊(翻訳を含む)をご紹介します。

- ・ロジャー・L・ガイガー(原圭寛・間篠剛留・五島敦子・小野里拓・藤井翔太・原田早春訳)
『アメリカ高等教育史 その創立から第二次世界大戦までの学術と文化』東信堂、2023 年 7 月。

(通信担当：蝶慎一)

お知らせ

これまでも、大学史研究セミナー、紀要『大学史研究』等については研究会ホームページで情報を公開してきました。コロナ禍前のように勉強会の開催なども企画しておりますので、会員のみなさまにおかれましては、研究会ホームページのご確認をお願いいたします。

そして年会費の長期未納の会員の方への対応ですが、3 年以上年会費が未納の会員につきましては、大学史研究通信及び紀要『大学史研究紀要』等の郵便物の発送を、本年 11 月発送予定の「大学史研究通信 セミナー号外」をもちまして、停止させていただきます。ご了承ください。本通信が届きます前に既に年会費を納入されていた場合は、行き違いによる失礼をお詫び申し上げます。

編集後記

このたび会員の皆様に「大学史研究通信」第108号（2023年9月）をお送り致します。少しずつ秋が深まり涼風が心地よい頃となりました。一方で、早くもインフルエンザが流行しているようです。会員の皆様におかれましては、くれぐれも体調等を崩されませぬようご自愛ください。引き続き、会員の皆様へお役に立てるような「大学史研究通信」をお届けできますよう充実した編集に取り組んで参ります。過去の「大学史研究通信」で読んだ記憶がある、また、何年か前の時期の紙面をご覧になられたいなどの場合は、大学史研究会のHPを通じてご覧頂ければ幸いです。今後とも、どうぞよろしくお願い致します。

（通信担当：蝶慎一）

「大学史研究通信」第108号の編集は、事務局・蝶 慎一（香川大学）が担当致しました。

連絡先： jimu-kyoku@daigakushi.jp

「大学史研究通信」セミナー号外は、2023年11月中旬発行予定です。

大学史研究会

〈運営委員長〉

坂本辰朗

〈事務局連絡先〉<http://daigakushi.jp/>

事務局へのお問い合わせは、下記代表Eメールアドレスまでお願い致します

E-mail: jimu-kyoku@daigakushi.jp

運営委員（五十音順）

大川一毅（岩手大学）

坂本辰朗（創価大学）

船勢 肇（長崎女子短期大学）

山崎慎一（桜美林大学）

山本珠美（青山学院大学）

山本尚史（筑紫女学園大学）

吉野剛弘（埼玉学園大学）

事務局員（五十音順）

蝶 慎一（香川大学）

原 圭寛（昭和音楽大学）